

修学旅行 旭山動物園の事前研修

西日本や東日本では、土砂崩れや家屋の浸水等で、被害にあわれた方が多くおられます。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに被害にあわれた方々、現在も避難されている方々には、お見舞い申し上げます。そして、早い復興をお祈り申し上げます。

期末考査中の7月5日(木)、6日(金)が休校となり、そのため、期末考査が2日間延び、昨日(7/11)で終了しました。

2年次生は、元々設定されていた修学旅行に向けての講義やホームルームは予定通り行われました。修学旅行の行き先は、北海道で、農作業体験や自然体験だけでなく、国際交流も兼ねて、北海道大学の留学生30数名との交流を行います。また、旭山動物園への訪問もプログラムに入れています。

そして、事前研修に、旭山動物園長 坂東 元 氏を講師としてお招きして、動物園での取り組みや動物を通しての生命の大切さ、尊さについて話をいただきました。普段知ることができない動物園の裏側の話も聞くことができました。

その一つを紹介します。動物を治療するときは、危険なので必ず麻酔をするそうです。しかも、近づいて注射できないため、吹き矢で注射器を飛ばします。園長(獣医)さんは吹き矢の練習をし、何メートルも離れたところから命中できるとのことです。下の写真は、キリンの爪を切る際の映像です。足の部分だけで4人も必要です。他にも、麻酔で寝ている間、長い首を数人で持ち上げておかなければ、胃の中のものが逆流して、肺に入ってしまうのだそうです。大変な作業です。

実際に訪問させていただく時が、楽しみです。

遠いところから、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

